

# そこが知りたい! がん 医療

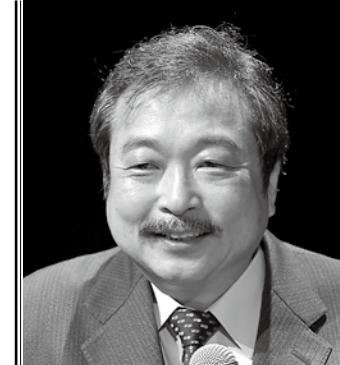
主催／静岡新聞社・静岡放送

共催／県立静岡がんセンター、三島市、長泉町、裾野市、函南町、清水町、三島市民文化会館

特別協賛／スルガ銀行

企画・制作／静岡新聞社地域ビジネス推進局

県立静岡がんセンター公開講座2019「そこが知りたい! がん 医療」の第16弾。この回は「前立腺がんの診断と治療」について、県立静岡がんセンター副院長兼泌尿器科部長の庭川要氏が講演を行いました。



県立静岡がんセンター  
副院長兼  
泌尿器科部長  
にわかわ まさし  
**庭川 要 氏**

1989年信州大学医学部卒。同大泌尿器科学教室、国立がん研究センター中央病院泌尿器科常勤医などを経て2002年から静岡がんセンター泌尿器科部長。17年から現職。1960年滋賀県生まれ。

## 患者数は10万人以上

前立腺は、骨盤の底にあるクルミ大の臓器です。膀胱の下、恥骨の背側にあり、尿道の周りを囲んでいます。前立腺の中には射精管、後ろには精囊（のう）、直腸があります。

前立腺には、前立腺液を分泌し、精子と合流させて

精子となつて精子の運動性を高める作用があります。

近年、前立腺がんは急増しています。1999年には患者数で1万8000人でしたが、2020年には10万5000人となると推定され、日本のがんのトップになるのではと予測されています。このがんには、他のがんと違う特徴があります。一つはホルモンの依存性。男性ホルモンによってがんの細胞分裂が進みます。次に、他のがんよりも遅い進行度。そして、罹患（りかん）



県立静岡がんセンター  
放射線治療科部長

はらだ ひでゆき  
**原田 英幸 氏**

1999年浜松医科大学医学部卒。国立東静岡病院（現静岡医療センター）、静岡がんセンター放射線治療科を経て2015年から現職。放射線治療専門医。研究領域は肺がん、骨軟部腫瘍、陽子線治療、緩和治療。1974年富士宮市生まれ。

## 前立腺がんの診断と治療

者は高齢者が圧倒的に多数です。他のがんと同じく初期症状はありませんが、進行すると尿が出にくくなり、骨転移すると痛みや足にむくみが生じます。

発症傾向としては高齢者、遺伝的要素、生活習慣があります。米国のは、他のがんと違う特徴があります。

PSAは前立腺肥大や刺激、炎症でも上昇します。例えば自転車に乗つてもPSAは高くなります。そのためPSAが4を超えると基準値から外れますが、がんに即つながるわけではありません。実は4程度での確実な診断法です。PSAが10でも3割、20で5割です。さすがに

PSAが4を超えると基準値から外れます。

ですが、がんはほぼ確定

ではありません。実は4程度での確

定ではありません。実は4程度での確

定ではありません。実は4程度での確